

料金別納郵便



高橋朋子展 Moon Pavilion

令和5年5月8日(月)~13日(土) 会期中無休

開廊時間：午前11時~午後7時(最終日13日は午後5時まで)

作家在廊日：会期中、全日在廊予定

陶歴 昭和49年 札幌市生まれ
平成11年 沖縄県立芸術大学生活造形研究科陶芸専修 修了
平成13年 千葉県八街(やちまた)市にて開窯 現在 千葉県八街市在住
平成26年 第10回 国際陶磁器展美濃 陶磁器デザイン部門 銅賞
平成28年 第56回 日本クラフト展 奨励賞
「近代工芸と茶の湯II」(東京国立近代美術館工芸館)
令和元年 第25回 日本陶芸展 茨城県陶芸美術館賞
第8回 菊池ビエンナーレ 奨励賞
令和3年 「近代工芸と茶の湯のうつわ」(国立工芸館/石川)
令和4年 第14回 現代茶陶展 TOKI 織部優秀賞(平成29年、令和2年、同賞受賞)
第69回 日本伝統工芸展(平成28年より毎年) 入選

皆様はどんなお月様がお好みでしょうか。私は満月よりは十六夜(いざよい)、晴間の月よりは雲間の月にひかれます。今回はそんな月に魅せられた気鋭の陶芸家、高橋朋子さんをご紹介します。その作品は、磁胎なのですが、白い素地が見えなくなる程、美しく丁寧な文様の加飾が施されています。その連続文様は、ほのかに異国情緒も感じられ、その加飾の妙が朋子作品の真骨頂だと感じています。最新作は、黒と金色の細かな文様の「鏤(しゅう)光彩」と、緑色も美しい「翠光彩」で、私はとりわけこの淡い緑色の色味が気に入り入っております。

閑話休題。私が昨今気に入っているお酒のつまみは、朋子さんにご紹介頂いた八街市の名店「フクヤ」さんの極細バターピーナッツです。私は時折ナイトキャップとして、ビールかジンを楽しみますが、そのどちらにも、このコクと甘みのあるバターピーは抜群の相性を誇ります。

さて、弊廊で初めてとなる本展は、「Moon Pavilion」と銘打ち、月をイメージして作られた最新作の茶陶など150点を発表致します。優しい笑顔の朋子さんも毎日、在廊されますので、どうかご覧頂ければ嬉しいです。ささ、今晚のナイトキャップはどうしましょう。もちろんお供はピーナッツで、BGMは、Jazzyな「Fly me to the Moon」にしましょうか……。店主 安田尚史

柿谷ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

公式Instagram



160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com



